



平成21年度

社会福祉法人日本点字図書館 事業報告

平成21年4月1日～平成22年3月31日

重点項目

昨年は、点字を発明したルイ・ブライユ生誕 200 年と、日本語点字を翻案した石川倉次生誕 150 年という点字の巨匠二人の生誕を祝って、視覚障害の世界は盛り上がりましたが、これを機会に、世界盲人連合をはじめ国内外の関係機関や団体は、点字を見直す活動を展開しました。日本では日本盲人福祉委員会が中心となって、点字協議会などの点字ビッグイベントを開催しましたが、当館もそれらに協力しました。

平成 21 年度は以下の三つの目標を掲げて事業に取り組みました。

(1) 録音雑誌デイジー化の実施

1 枚の CD に 7 種類の録音雑誌を収録して返却不要の方式で提供する事業は好評を得ています。利用者数が 6,500 名に達し嬉しい悲鳴を上げた反面、資金面でそれなりの負担を背負うという結果になりました。しかし、デイジー化を加速させる上で大きな成果を上げることができたと思います。

(2) プリント部門の再編成とそれに伴う館内整備による業務の効率化

録音図書がデイジー化されることでカセットのプリントに要した人員の削減と配置転換を実行しました。また、製作機器の構成が変わることによる作業スペースの有効活用の面から点字プリントを同居させるなど、館全体のレイアウトを変更して効率化を実現させました。

(3) 著作権法の一部改正による利用者対象の拡大対応

本年 1 月 1 日の改正著作権法の施行により、第 37 条の 3 項で「活字の認識に困難のある者」が視覚障害者情報提供施設の利用対象に加わることになりました。その為、当館として、具体的にどのような対応が可能かについて検討を開始しています。録音データの利用について、学習障害者などより広汎な障害者から求められるようになる

ことは明らかで、当館が視覚障害者の読書を支えるために蓄積してきた経験と資源を広く障害者のために活用するよう前向きな取り組みを続けることとなります。

平成 21 年度の国の補正事業により視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」の構築事業に取り組みました。これは、総額 4 億 3 千万円に上る予算を受けて「サピエ図書館」を中心とする情報提供システムの構築です。全国視覚障害者情報提供施設協会と役割を分担して進める事業でしたが、当館はシステム全体の受託と「サピエ図書館」の整備に責任を果たすべく精力的に作業に関わりました。

また、平成 20 年度の国の補正予算により、当館の建物が改修されました。本館・別館とも建設後 10 年余を経過したことで、外壁の修理、雨漏りの修繕、また LAN 配線の張替えなどの必要に迫られ、かなり大規模な改修でした。

次に、各部事業の詳細を記述いたします



[利用サービス]

1. 図書情報提供サービス

(1) 重点事業

① デイジー図書利用の促進

- ・新規の利用登録希望者やカセットテープの利用頻度が高い利用者に対し、電話や来館などで積極的にデイジー利用の案内を行い、さらに 4 月より発行開始した「にってんデイジーマガジン」の案内を行いながら利用促進に努めた。

また、独立行政法人福祉医療機構助成「高齢の視覚障害者を中心としたデイジー録音図書利用促進事業」を通して、都内近郊在住のパソコンやデイジー図書を利用したことのない視覚障害者 52 名に対し、デイジー再生機であるプレクストーク PTN1 (卓上型) と PTP1 (携帯型) を貸与し、個別を含めた操作講習会を開催して基本操作をマスターしていただき、図書の利用については従来の貸出方式ではなく、媒体 (CD-RW、SD カード) を配布し、貸出期間に捉われることなく、希望のタイトルを職員がコンテンツをダウンロードして提供した。

平成 21 年度 デイジー図書実利用者数: 7,409 人 (前年度 4,555 人)

録音図書コンテンツダウンロード提供

- ア. CD 80 タイトル
- イ. SD 1,016 タイトル

- ・パソコン教室のメニューに図書データの取扱い方法などを加え、自らびぶりおネットなどからダウンロードした音源を媒体などに保存し、専用再生機で聴くことができるよう指導した。
- ・個人朗読でも前年度に引き続きデジタル録音を推進し、203タイトル 1,717時間22分(前年度 197タイトル 1,326時間42分)をデジ編集して提供した。

②びぶりおネットサービスの拡大

- ・貸出への新規利用登録希望者、デジ図書の利用頻度の高い利用者に対し、積極的に「びぶりおネット」の広報を行った。また、株式会社ラビットとサポート契約を結び、無料体験会の開催などにより、個人利用者が全国で3,046人となった。(事業計画目標値：2,400人)

③サービス対象や資料種類を拡大した時に想定されるサービスシステムの検討

- ・視覚障害者以外の障害者の受入・提供体制を検討し、本年1月より登録の受付を開始した結果、5人の利用者が貸出サービスだけでなく、「びぶりおネット」および、録音図書コンテンツのダウンロードサービスの利用を受けている。

(2) その他の主要事業

①利用登録

利用登録者数 13,159名(新規登録者数1,473名、点字使用者7,573名)

内図書館システム Web-OPAC 登録者 4,158名

②点字図書の蔵書数および貸出・提供

・蔵書数	22,244タイトル	77,307冊
・蔵書数の変化	新収書	949タイトル 2,708冊
	除籍書	2,073タイトル 6,571冊
・貸出数	10,748タイトル(目標値：10,000タイトル)	44,316冊
	(前年比	72タイトル増 948冊減)
	内他館借受	382タイトル 1,131冊

③録音図書の蔵書数および貸出・提供

・蔵書数	26,659タイトル	152,536巻
・蔵書数の変化	新収書	1,311タイトル 4,105巻
	除籍書	7,340タイトル 62,212巻
・貸出数	総巻数	161,941タイトル 332,542巻
	内他館借受	9,838タイトル(目標値：4,000タイトル)
	ア.カセットテープ	21,195タイトル(目標値：20,000タイトル)
		106,059巻
	(前年比	8,592タイトル減 43,247巻減)
	内他館借受	1,688タイトル 11,127巻
	イ. CD図書	140,645タイトル(目標値：130,000タイトル)

141,518 枚
 (前年比 13,140 タイトル増 12,892 枚増)
 内リハ協文庫 7,438 タイトル
 内他館借受 8,150 タイトル
 ウ. 雑誌 84,965 巻 101 誌 (前年比 26,985 巻減)
 内他館借受 7,307 巻

*Web-OPACによる当館ホームページからの貸出依頼

延べ6,975名 18,713 タイトル

・コンテンツダウンロード提供

ア. CD 80 タイトル

イ. SD 1,016 タイトル

④にっぺんデイジーマガジン

ア. 個人配布(CD) 6,215 人(目標値:5,500 人)

イ. 団体配布(CD) 245 団体

ウ. 年間配布数(CD) 76,229 枚

エ. びぶりおネット年間実利用(配信) 3,654 人

⑤インターネット配信による資料の提供

○点字図書・録音図書ネットワーク配信サービス(びぶりおネット)

6月よりマイブック(※株式会社高知システム開発より販売された読書支援ソフト。このソフトを使用してびぶりおネットの利用ができる。)購入者に対し、IDとパスワードを発行し、サービスの提供を開始した。

・利用登録 個人3,046名(東日本1,878名 西日本1,168名)

内携帯のみ616名(東日本411名 西日本205名)、PC併用含む携帯利用者976名

団体85団体(東日本49団体 西日本36団体)

・ネット公開図書データ 点字データ 12,201 タイトル

録音データ 15,448 タイトル

携帯電話 14,649 タイトル

・利用状況 点字ストーリーミング 865 タイトル 1,470 冊分

点字ダウンロード 17,372 タイトル 88,160 冊分

録音ストーリーミング 441,105 タイトル 462,626 時間

録音ダウンロード 121,662 タイトル 1,189,986 時間

モバイルサービス 42,737 回アクセス 234,813 時間

○点字図書情報ネットワーク(ないーぶネット)

・データのアップロード

書誌データ 新規1,771件 更新1,318件 削除352件

点字データ 318 タイトル

・ダウンロードサービス 28 件

プリントアウト 25 件 26 タイトル 14,419 ページ

フロッピーディスク提供 3 件 5 タイトル 4 枚

・利用者による自館製作データのダウンロード 34,228 タイトル

- ・「ないーぶネット」システム管理業務として、全国視覚障害者情報提供施設協会ないーぶネット事務局のサポートを行った。
- ・9月に「ないーぶネット」改修版のリリースアップを行った。
- ・図書情報課を中心に補正事業として、視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」の開発を行い、平成22年4月よりサービスを開始した。

⑥レファレンスサービスおよび書誌データの整理

利用者が求める図書情報等を速やかに提供できるように情報収集を行い、視覚障害者の読書を支援した。また、蔵書について、Web-OPAC利用者が様々な角度からのアプローチで目的の本を探し出せるよう、当館の目録規則に従った書誌データの整備を行った。

- ・情報提供件数 51,262件(学生31名、社会人5,545名、団体85団体)

⑦プライベートサービス

専門書を対象に、事前予約制で対面リーディングサービスを実施した。
延べ622名 1,223時間利用(活動ボランティア50名)

⑧点字・録音図書の収集

利用者の読書ニーズの把握に努め、出版される点字・録音図書を購入し、蔵書の充実に努めた。

- ・点字購入図書：13タイトル
- ・点字購入雑誌：18誌
- ・録音購入図書：7タイトル
- ・録音購入雑誌：1誌

⑨利用者用目録の製作と提供

- ・点字図書新刊案内「にってんブレイル」(点字版)を6回編集・発行
- ・録音図書新刊案内「にってんボイス」(点字版・墨字版・録音版)を6回編集・発行。なお、録音版については、「にってんデジーマガジン」および「びぶりおネット」で提供した。
- ・年間追加目録 録音図書2008年版 点字版を編集・発行
録音図書2009年版 点字版を編集・発行
点字図書2009年版 点字版を編集・発行
- ・集約版目録 点字図書目録2008年版 点字版を編集・発行
- ・CD図書目録2008年版 デイジー版を編集・発行
- ・蔵書目録の頒布 432部
点字図書 点字版156冊頒布
録音図書 点字版48冊、墨字版54冊、テープ版0巻、
CD版438枚頒布

⑩点字・録音書庫の有効活用

内容を考慮しつつ、新刊図書や頻度の高くなってきたデイジー図書の配架スペースを常時確保するため、点字図書は除籍を行い、配架位置を見直しながら書庫移動を継続して実施した。また、録音図書については、部数是正によるカセットテープの除籍を行い、書庫移動を実施してデイジー図書の配架スペース

を約2年分確保した。

⑪奥村文庫(視覚障害関係墨字資料室)

視覚障害に関わる情報収集を行い、問い合わせに対して適切な資料と情報の提供に努めた。

- ・視覚障害関係墨字資料の収集 1,114点
(利用件数 閲覧550件 レファレンス564件)

⑫点字教室、パソコン教室

中途視覚障害者のための点字教室

- ・全248回開催 延べ1,366名参加(新入生19名) 相談169件

パソコン教室

- ・初心者向けパソコン教室 延べ43名、実34名受講 215コマ開催
- ・体験クラス 32名受講 32コマ開催

⑬点字教室修了者の自主活動(点字学習サークル)の支援

館内の多目的室を提供して、読書会などの活動支援と催し物・行事・募集などの情報提供を行った。

- ・全21回開催 延べ465名参加 情報提供21回



[図書製作]

1. 点字図書・触図等の製作・監修

- (1) ボランティアによる点訳受入図書数 212タイトル 877冊
- (2) 点訳完成・発表図書数 315タイトル 1,645冊
- (3) ボランティア数 122名(平成21年度中に点訳実績のあった方)
- (4) ボランティアの養成・指導
 - ①点訳者養成講習会進級者の通信指導 3名 延べ29回
 - ②養成修了者 1名
 - ③点訳者対応 983回
 - ④所属点訳ボランティア対象の講習会
10月、1月に各講習4回に分けて行い、延べ194名が参加。
- (5) プリンタ図書の頒布 53件 154冊 10,764ページ
- (6) 「びぶりおネット」サービス
点字データのアップロード 349タイトル 1,668巻
- (7) 点字プリントアウト・サービス 257件 89,243ページ
- (8) 点字出版図書の頒布 535タイトル 1,613冊
- (9) 点字図書給付事業取扱件数 186件 518冊
- (10) 盲学校理療教科用図書の頒布
「医療と社会」 42件 168冊
- (11) 盲学校高等部用教科書の頒布

- | | | |
|------------------------------|------|-------|
| 「Oral Communication I」 | 31 件 | 124 冊 |
| 「Oral Communication BOOK II」 | 6 件 | 18 冊 |
| 「理科基礎」 | 3 件 | 15 冊 |
- (12) 文部科学省著作教科書の製作
特別支援学校中学部視覚障害者用「社会(公民的分野)」(3年生用) 59 件
408 冊
- (13) 団体・企業等からの依頼による触知案内図・点字サインの製作と監修
各航空会社 安全のしおり製作
公園案内板 各種の製作・監修
駅施設案内板 各種の製作・監修 他
- (14) 自費出版図書の発行など
NHKウイークリーガイドの 1000 号発行を記念したコンサートを開催し、キャンペーンを実施した。

2. 録音図書の製作

- (1) 録音図書の製作
ボランティア数 74 名(平成 21 年度中に録音実績のあった方)
総数 228 タイトル 1,925 時間
- (2) デイジー図書の編集
①内部ボランティア 486 タイトル 4,199 時間
ボランティア数 42 名(平成 21 年度中に編集実績のあった方)
②外部ボランティア 633 タイトル 5,446 時間
ボランティア数 9 団体(平成 21 年度中に編集実績のあった団体)
- (3) びぶりお工房
ボランティア数 87 名
総数 192 タイトル 1,684 時間
- (4) びぶりおネットサービス
音声データのアップロード 1,133 タイトル(代行アップを除いた数)
- (5) 寄贈図書等のコピー CD25 枚
- (6) 池田文庫事業 池田輝子基金によりデイジー図書 307 タイトルの製作を行った。



[事業部関係]

1. 視覚障害者用具の販売斡旋

- (1) 取扱い点数 1,372 点 販売斡旋数 147,869 点
- (2) 新商品(新規取扱商品 127 点)
主な新商品
・プレクストークポケットPTN2 (デイジー再生機)
・ブレイルメモ BM32
・タッチ式ボイスレコーダー タッチメモ

- ・ラジオ付きボイスレコーダー ICR-801V
 - ・筋トレクッション・チューブ
 - ・SUDOKUパズル&IGO
 - ・ピラミッドトーク (セイコー製)
 - ・光メロディーセンサー
 - ・どうぶつしょうぎ
 - ・CD郵送用封筒 10枚組など
- (3) 海外諸国への輸出件数 16件
 主な輸出国：韓国、台湾、中国、フランス、アメリカ、マレーシア
 主な販売商品：触読式腕時計、32マス標準点字盤、小型点字盤、そろばん、テニスボール、ピンポン玉、バレーボール、オセロ など
- (4) 広報の充実
- ①過去3年間用具事業課で5回以上ご購入いただいた方1,201名を対象に用具事業課のお客様に対してニーズ調査を実施した。うち502名(墨字245名・点字257名)より回答された。新商品の情報源、使いやすい購入方法、取扱説明書の種類(点字・CDなどの音源・大活字)、デジタイズ録音再生機の所持率およびサポートの種類、携帯電話の所持率・サイトからの購入の可能性などご意見ご要望を収集した。デジタイズ録音再生機への変更やインターネット販売導入への喚起を促すことができた。
 - ②新商品情報誌「ニュー用具タイムズ」を4・7・10・1月の年4回発行(びぶりおネットにて配信も行う)。デジタイズ版は図書情報課より貸出した(購読者は各号約6,000名)。
 - ③ホームページを通じて、積極的に新商品を紹介した。
 - ④各種体験会の実施 56回
 - ⑤展示会への出展 全国12ヶ所に出展
 - ⑥用具の貸出展示 47回
 (貸出先：社会福祉協議会、点字図書館、小学校、視覚障害関係施設など)
- (5) ゲーム会の開催 6回
 (6) ミニ福祉機器展 5回

2. 池田基金関係

池田輝子ICT奨学金事業

池田輝子基金により第6回池田輝子ICT奨学金事業を実施。

実施期間：7月～8月

場 所：ペナン(マレーシア)

講 師：Mr. Amir Teh、David Hathaway 他

講習生13カ国18名

(フィリピン、ラオス、ベトナム、タイ、カンボジア、ネパール、ブータン、スリランカ、モンゴル、バングラデシュ、マレーシア、インドネシア、フィジー)

3. マンション設置経営

2棟のマンション(総戸数34戸)を運営し、生じた収益は、社会福祉事業及び公益事業に充当した。

[委託・補助・
助成事業]

1. 厚生労働省委託事業

(1) 視覚障害者用図書事業

①点字図書の製作 40 タイトル 7,144 冊

②点字図書貸出 1,115 タイトル 4,602 冊

③声の図書製作

デジタイズ図書を12タイトル製作。インターネット配信用に22タイトルを製作

④声の図書貸出 3,260 タイトル 8,945 巻

(2) 盲人用具販売あつ旋事業 29種 34,314点

2. 厚生労働省補助事業

(1) 点字図書情報ネットワーク事業

①会員数 個人 6,272名

施設 227ヶ所

②目録タイトル数 472,604 タイトル

③点字データタイトル数 112,837 タイトル 458,307 件

④年間点字データアップ数 10,976 タイトル

⑤年間点字データダウン数

個人 675,950 タイトル

施設 15,759 タイトル

⑥年間目録検索件数 776,937 件

⑦年間オンラインリクエスト受信件数 305,994 件

⑧全国の点字・公共図書館等に対する情報提供 51,262 件

内訳（複数提供あり）

電話 29,472 件

点字・録音・墨字 21,148 件

メール 1,114 件

口答 1,724 件

(2) 視覚障害者情報提供ネットワークシステム整備事業

全国の視覚障害者情報提供施設などが製作する点字図書・録音図書・書誌・地域情報のデータを蓄積し、インターネットにより配信する機能を持ち、施設向けに図書製作支援機能などを実装した情報総合ネットワーク「サピエ」を構築。今年4月1日より稼働させた。

3. 東京都委託事業

(1) 東京都視覚障害者用図書製作貸出事業

①点字図書の製作、貸出

(ア) 製作 プリンタ図書 21 タイトル(150 巻×2 部複製)

(イ) 貸出 236 タイトル 1,340 冊

②声の図書・雑誌の製作、貸出

(ア) 製作 60 タイトル(60 巻×5 部複製)

(イ) 貸出 5,776 タイトル 13,229 巻

③希望図書の製作

(ア) 点訳 希望者 87 名 106 件 108,282 頁

(点訳者 20 名 13 グループ)

(イ) 朗読 希望者 232 名 280 件 2,137 時間

(朗読者 43 名 編集者 19 名)

(2) 東京都視覚障害者用図書レファレンスサービス事業

視覚障害者、施設・団体に対する情報提供数 20,216 件

内訳 (複数提供あり)

電話 13,497 件

点字・録音・墨字 6,242 件

メール 246 件

口答 1,349 件

4. 省庁・自治体からの委託・補助による事業

(1) 外務省委託事業

「世界を読む」(月刊)の製作及び配布(「にってんデイジーマガジン」に収録して配布)

(2) 東京都消費生活総合センター委託事業

視覚障害者向け消費生活情報誌「東京くらしねっと」(録音テープ版)の作成及び配布

6回 6,044 部

(3) 新宿区委託事業

・「広報しんじゅく」点字版作成及び配布 36回 1,985 部

・「しんじゅく区議会だより」点字版作成及び配布 6回 310 部

・「しんじゅくの教育」点字版作成及び配布 3回 166 部

・「わたしの便利帳」点字版作成及び配布 61 部

5. 団体・企業等からの助成・補助による事業

(1) 独立行政法人福祉医療機構

「高齢の視覚障害者を中心としたデイジー録音図書利用促進事業」を行った。
(詳細は2ページ参照)

(2) 独立行政法人国際協力機構 草の根支援型事業

NGO「北京紅丹丹教育文化交流中心」(中国北京市)に対して次の視覚障害者音声情報提供技術指導を行った。

・映画副音声製作技術指導


- ・テレビ番組副音声製作・視覚障害者向けラジオ製作技術指導
 - ・デイジー編集技術指導
 - ・録音ボランティア養成指導
- (3) 財団法人日本宝くじ協会
点字図書・録音図書(CD)各5タイトル、計10タイトルを製作・貸出
- (4) 財団法人東京メソニック協会
・点字図書、録音図書(CD)各3タイトル、計6タイトルを製作・貸出
・DVD対応解説音声コンテンツCDを5タイトル製作
- (5) 財団法人石橋財団
・DVD対応解説音声コンテンツCDを10タイトル製作
・全国の点字図書館等86ヶ所にDVD対応解説音声コンテンツCD15タイトル(24枚)を配布
- (6) 教職員共済生活協同組合
点字図書12タイトル、録音図書(CD)12タイトル、計24タイトルを製作・貸出
- (7) 社会福祉法人読売光と愛の事業団
・ロービジョン機器等相談事業の実施
・専門対面リーディングサービス事業の実施
・DVD映画音声解説体験上映会「光と愛のシネマ」機器整備事業の実施(簡易スクリーンの導入)
- (8) 財団法人JKA
「視覚障害者の自立援助啓発普及事業」として、「医学研究」及び「ホームライフ」を月1回年12回製作・発行
配布先:利用者 「にってんデイジーマガジン」に収録して配布
点字図書館 合計984枚
ハンセン病施設 合計156枚
- (9) 財団法人日本テレビ系列愛の小鳩事業団
点字カレンダー36,615部の製作・配布
- (10) 社団法人霞会館
コンピュータ点字製作技術指導講習会を実施
日程:10月13日から10月20日
場所:カザフスタン青年障害者協会事務所(カザフスタン国アルマティ市)
- (11) 株式会社文藝春秋
録音雑誌「声の文藝春秋」を月1回年12回製作・配布(「にってんデイジーマガジン」に収録して配布)
- (12) 財団法人鉄道弘済会
録音雑誌「ブックウェーブ」を月1回年12回製作・配布(「にってんデイジーマガジン」に収録して配布)
- (13) 財団法人一ツ橋総合財団
・録音図書「一ツ橋文庫」10タイトルを製作
・既存録音図書のデイジー編集
- (14) 株式会社トーハン
445タイトル、518冊の原本及び資料提供を受け、点字図書、録音図書を製作・貸出

- (15) 財団法人原田積善会
視覚障害者音声情報提供技術指導事業に使用するパソコン購入助成
- (16) 株式会社岩波書店
岩波新書等のデージー版を製作・貸出
- (17) 財団法人NHKサービスセンター
点字版「NHKウイークリーガイド」の製作・頒布
- (18) 第35回ラジオチャリティ・ミュージックソン
録音図書デージー編集製作に係る経費助成
- (19) 公益信託久保記念点字図書援助基金
プライベートサービス用デジタル録音機及び編集用パソコンの整備
- (20) 財団法人前川報恩会
貸出図書複製用CDデュプリケータの整備
- (21) 公益財団法人洲崎福祉財団
視覚障害者向けパソコン教室用パソコンの整備
- (22) 宝印刷株式会社
見学者向け「事業のご案内」のパンフレット製作助成
- (23) 東電環境エンジニアリング株式会社
中古パソコンをリユース処理し、点訳用パソコンとして25台提供された。
- (24) ワンブック・プレゼント運動へのご協力
イオンクレジットサービス株式会社、リサイクルブックストア協議会、エキスパートグループ、スターバックスコーヒージャパン株式会社、ハウス食品労働組合、財団法人郵政福祉東京地方本部、株式会社コンビーズ、花王株式会社、花王ハートポケット倶楽部、株式会社東横イン、はんだこどもクリニック、株式会社日立ビルシステム、株式会社アートサービス企画、ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社ほか、企業、団体、個人などの助成により、点字・録音図書の製作、貸出を行う。

6. 団体・企業等からの委託による事業

- (1) ソニー株式会社
新製品情報「聞くカタログCD版」を年3回、合計4,350枚製作
- (2) 東京電力株式会社
「東電文庫」点字版 4タイトル、計 540冊
テープ版 4タイトル、計 990巻
デージー版 4タイトル、計 248枚
を製作し、関東地区の点字図書館等へ配布
- (3) 株式会社資生堂
季刊CD雑誌「おしゃれなひととき」を合計2,000巻製作・配布
- (4) 花王株式会社
デージー編集CD版「清潔で美しく健やかに ― 商品と暮らしの花王ボイスガイド」2009年版1,100枚を製作し、希望者に配布
- (5) 財団法人早川記念文学振興財団
「ハヤカワライブラリー」10タイトルを製作・配布
- (6) 株式会社佼成出版社
「立正佼成会会報」テープ版(月刊)を合計11,000巻製作

- (7) 日本アマチュア無線連盟
「点字JARL NEWS」を年4回、677冊製作
- (8) 社団法人全国腎臓病協議会
機関紙「ぜんじんきょう」テープ版を600巻プリント
- (9) 社会福祉法人NHK厚生文化事業団
・「朗読」3タイトル、「古典講読」等、全5枚（デイジー版）の受入貸出
・「NHK障害福祉賞 入選作品集」テープ版を180巻、CD版を70枚製作
- (10) 毎日新聞社
全国盲学校弁論大会録音テープを製作
- (11) 日本盲人キリスト教伝道協議会
「おとずれ」テープを675巻複製
- (12) 社会福祉法人日本身体障害者団体連合会
「障害者相談員活動事例集」テープの委託製作
- (13) 公共交通機関や企業などの委託により、手すり点字銘板、点字運賃表、案内板等を製作・監修



[募金・行事・
広報活動]

1. 日点みんなの集い

11月14日(土) 弘済会館(四ッ谷)

内容：第6回本間一夫文化賞贈呈

勇退奉仕者感謝状贈呈 ボランティア 11名

第17回にってん野路菊賞表彰

第49回随筆随想コンクール入賞者表彰

講演「出版人のはしくれ」

株式会社早川書房代表取締役社長 早川浩氏

立道聡子ミニコンサート

2. 寄付・助成金の増収

毎年継続の維持会費、企業や諸団体助成金の確保に一層努力した。(ワンブック・プレゼント運動、愛のポストカード運動、愛のCD運動を含む)

3. 日本点字図書館カード会員の拡大

見学者、チャリティ映画会・コンサート、「みんなの集い」来場者に対して加入勧奨のパンフレットを配布し、加入者の拡大を図った。

新規加入 22件 (現在の有効会員 339名)

4. チャリティ映画会・コンサートの実施

- (1) 映画会の開催

- ・ 9月18日(金)なかのZERO大ホール
『モーターサイクルダイアリーズ』 来場者 397名
- ・ 3月26日(金)なかのZERO大ホール
『ディア・ドクター』 来場者 690名
- (2) 特別チャリティコンサート『サーカス 夏のハーモニー』
7月24日(金)杉並公会堂 来場者 622名
- (3) 第7回本間一夫記念日本点字図書館チャリティコンサート
10月10日(土)東京文化会館小ホール
『武久源造リサイタル 秋に聴きたい鍵盤の名曲』 来場者 337名

5. 随筆随想コンクールの実施

応募作品 38編 審査委員長三宮麻由子氏(エッセイスト)

入選者	最優秀	「慈愛に満ちたことば」	竹内昌彦氏(岡山県)
	優秀	「地域に生きる」	太田正彦氏(長野県)
	優秀	「女房の手」	江川 稔氏(神奈川県)
	優秀	「千載一遇の年に」	古賀副武氏(兵庫県)

6. 第6回本間一夫文化賞の贈呈

石川 准氏(静岡県立大学教授)
(視覚障害者の立場・視点から現代社会を研究。また自動点訳プログラムを開発した。)

7. 第17回にってん野路菊賞の贈呈

柳田青蘭氏(書家・長年にわたる視覚障害者へ書道の指導)
道村静江氏(視覚障害児のための漢字教材の開発)
デビッド・ハサウエー氏(アジアの視覚障害青年に対するICT技術指導)

8. 広報誌の発行等

- ・「にってんフォーラム」(年4回、各3,000部)を発行した。
- ・「感謝録」(12,000部)を発行し、寄付者を中心に関係団体等に配布した。
- ・「事業案内」(33,000部)を発行し、寄付依頼に同封するとともに、関係者(団体)及び見学者、行事の参加者等に配布した。
- ・「にってんブレイル」の発行
(点字版年6回 合計2,947部、びぶりおネット347回利用)
- ・「にってんボイス」の発行(年6回 合計42,971部)
(点字版3,185部、墨字版1,800部、録音版37,986部、びぶりおネット点字347回・録音2,019回利用)
- ・「にってんデイジーマガジン」の発行(年12回発行)
(CD版76,229枚、びぶりおネット録音3,654回利用)
- ・見学の受入 215件 1,259人

9. イベントの開催

- (1) NHKウイークリーガイドの1000号発行を記念したコンサートの開催

- 「朗読と指笛」 8月22日開催 参加者約100名
 (2) DVD映画音声解説体験上映会「光と愛のシネマ」開催
 14回 延べ523名参加

[会議・研修・
福利厚生]

1. 会議

- (1) 理事会・評議員会の開催
- | | |
|-------|----|
| ①理事会 | 4回 |
| ②評議員会 | 4回 |
- (2) 会議の開催
- | | |
|--------------|-----|
| ①部課長会議 | 12回 |
| ②主任会議 | 12回 |
| ③提案推進委員会 | 11回 |
| ④広報委員会 | 13回 |
| ⑤教育委員会 | 10回 |
| ⑥福利厚生委員会 | 5回 |
| ⑦ホームページ制作委員会 | 4回 |
| ⑧選書委員会 | 12回 |
| ⑨DVD上映委員会 | 13回 |
| ⑩安全衛生消防委員会 | 2回 |

2. 研修・福利厚生

- (1) 表彰関係
- ① 奉仕者(外部表彰)
- | | |
|----------------------|----|
| ア 日本盲人社会福祉施設協議会奉仕者表彰 | 2名 |
| イ 東京都社会福祉協議会会長表彰 | 3名 |
| ウ 東京都社会福祉協議会会長感謝状 | 1名 |
| エ 東京都知事感謝状 | 3名 |
- ② 職員
- | | |
|----------------------|------------|
| ア 理事長表彰 | |
| ・永年勤続表彰 | 職員 6名 |
| | パートタイマー 4名 |
| ・特別表彰奨励賞 | 4名 |
| イ 外部表彰 | |
| ・東京都社会福祉感謝状(永年勤続) | 1名 |
| ・日本盲人社会福祉施設協議会(永年勤続) | 3名 |

- | | | |
|---------------|------------|---------|
| (2) 職員研修 | | |
| ①内部研修 | パート職員 | 5名参加 |
| | 全体研修（3回開催） | 延べ99名参加 |
| ②外部主催研修 | | 延べ26名参加 |
| (3) 職員健康診断の実施 | | 79名受診 |